

編集後記

今月号の特集は「THA—各種アプローチのコツとピットフォール」であった。手外科に特化して久しく、自ら THA を執刀することも、実際の手術に立ち会うことすらないため、私の知識は随分長らくアップデートされていなかった。術後の X 線像は以前と大差ないが、その陰では脱臼防止や機能改善につながる多様な工夫が営々と積み上がっており、以前とは全く異なる手術へと変貌していることを知りとても驚いた。

大学病院で股関節疾患の患者を診察する機会はないが、外勤先では時に遭遇する。多くは変形性股関節症であり、先天性股関節脱臼対策が不十分であった私と同年代の女性が多い。逡巡することなく THA を勧め、近隣のボリュームセンターに紹介するが、手術後に再び訪ねてくる患者の状況を見るたびに機能と疼痛の劇的な改善に感動する。間違いなく THA は整形外科手術の中で最もキレイの良い手術だと思う。Covid-19 のパンデミックにより THA 手術にも影響が出ており、股関節痛からの解放を期待して手術を待つ多くの患者を思うと胸が痛い。

グローバル化の進展によりパンデミックリスクがこれまでになく高まっていることは頭ではわかっていた。しかし、いざ現実となるとその影響の大きさ、対応の難しさは想像をはるかに超えていた。コ

ロナウイルスの変異株によるパンデミックは 2002 年に発生した SARS、2012 年の MERS と頻繁に繰り返しており、その都度身構えたが、幸い日本に拡大することとはなかった。いずれも対岸の火事で終わったが、その際、我々は被災国の教訓に学ぶ姿勢に欠けていたように思う。今回は横浜港に停泊するダイヤモンドプリンセス内での感染拡大の様子が連日報道され、しかも重要な疫学情報もかなり得られていた。しかし、日本政府の初動は大きく遅れ、検査・治療体制の構築も諸外国と比べてひどくもたつき、パンデミックへの対応能力の低さを露呈した。現時点での PCR 検査能力は先進国ばかりか、中進国と比較しても何十分の 1 に留まる現状は、パンデミック対応能力の強化が現状でも遅々として進んでいないことを浮き彫りにしている。『整形・災害外科』で連載「医療史回り舞台」を 327 回にわたり執筆された篠田達明先生の近著『秀吉の六本指/龍馬の梅毒』ではパンデミックの逸話が多く紹介されている。第 7 話「インフルエンザに倒れた大横綱」では鎖国時代皆無であったインフルエンザの流行が正徳 2 年に 100 年ぶりで起こり、将軍家宣が亡くなったとある。グローバル化は逆戻りしない。我々はもっと真剣にパンデミックに備える必要がある。

(平田 仁)

「整形・災害外科」第 63 巻 第 8 号 (7 月号) 2020 年 7 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) [年間 13 冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。